・移住交流支援センターだより・

NPO法人
グリーンバレーの
伊藤・林が
お届けします。

お問合せ
☎676-1177
IP: 2028

空き家から出るモノを再利用しませんか？ モノストック倉庫のご紹介

モノストックは、移住交流支援センターが運営する、空き家から出たモノを保管する倉庫です。センターでは、入居が決まった空き家に残っている、荷物の片付けサポートを行っています。まだ使えそうな家具や家電などを、廃棄せずに倉庫で保管し、必要な方に使ってもらうことで、モノの循環、ゴミの削減が期待できます。

町内在住・在勤の方を対象に、倉庫のモノを持ち帰ることができるオープンデーを、定期的に開催します。モノをお持ち帰りの際は、モノストック運営費のカンパにご協力お願いします。

モノストック9月のオープンデー

日時：9月29日（火）
9時～12時
場所：神領青井夫旧国道沿い

今月のインタビュー

2018年（平成30年）に引っ越してきた髙木さんをご紹介します。髙木さんは空き家になった家を借り、ご自宅の一角で焼き菓子のお店「BAKE SHOP FOO（ベイク ショップ フー）」を営まれています。

髙木由美子　香川県出身
下分安吉在住

〈移住のきっかけ〉

仕事で東京に20年住んでいたのですが、母親の介護がきっかけで香川に戻っていました。その後しばらくは仕事の関係で高知にいたのですが、神山に移住していた友人から声をかけてもらい、実家に近くなるという理由もあって、神山町に引っ越してきました。友人に家探しを手伝ってもらったり、町内の人や仕事を紹介してもらえたので、安心して移住を決めることができました。

〈お仕事について〉

東京に住んでいた頃は、焙煎などコーヒー関連の仕事をしていました。コーヒーの仕事を辞めてからは洋裁学校に通って、縫製の仕事をしていたこともあります。四国に帰ってきて、起業も視野に入れつつ働くようになりました。店舗用に物件を借りることも考えましたが、結局は自宅の一角を改修して、菓子製造の工房を昨年8月に開業することができました。また今年の3月からは、週末だけオープンする小さな店舗スペースもつくりました。雑誌などを読んでお店に来てくれる方たちだけでなく、ご近所の方や神山に実家がある方などが、定期的にお店に来てくれるのがうれしいです。

〈神山での暮らし〉

神山は、新しいことに興味を持ってくれる人が多いなと思いました。焼き菓子をしていきたいと話すと、食べてみたいと興味を持ってくれる人もいて、試しに焼いたのを食べてもらって、感想を教えてもらったりしながら、開業準備を進めていました。お店は週末だけですが、仕入れから仕込み、製造、包装まで全部1人でやっているので、起業してからはなかなか休めていません。自営業の大変さを感じましたが、つらいと思ったことはないです。

〈今後の抱負〉

商品を試作しているうちに、素材の旬が過ぎてしまうことがあったり、自分の知識が足りなくて、表現できていない味もあるなと思います。つくりたいお菓子のイメージがまだまだあるので、それを試行錯誤しながら、形にしていきたいです。

新規移住相談件数

6月…10件
7月…11件